



# 玉川通信

学校だより NO. 12  
令和4年2月28日  
昭島市立玉川小学校  
校長 小川 広 樹

## 令和3年度の締めくくりに

校庭の梅の花のつぼみも膨らみ、いよいよ春が近づいてまいりました。保護者、地域の皆様におかれましては御健勝にてお過ごしのことと存じます。

学芸会は動画の公開とさせていただきますが、子供たちの劇はいかがでしたでしょうか。子供たちは練習からとても熱心に取り組み、全員で力を合わせて劇を作り上げていました。子供たちは動画公開と同じ期間で他学年の劇も観ています。それぞれの劇から多くのことを学んでいます。御家庭でも子供から話をお聞きになり、話題にしてみてください。

2月には冬季オリンピックが北京で行われました。過去最多のメダル獲得でした。金3、銀6、銅9、合計18個です。オンタイムで観ることはなかなかできませんでしたが、素晴らしい競技、演技を沢山観ることができ、感動しました。どの選手も、ものすごい量の練習に取り組んできたであろうことがうかがえます。スピード、高さ、技、正確さなど、観ているだけでも緊張の連続でした。最終日のカーリング決勝では、惜しくも2位になってしまいましたが、表彰台で「こんなに悔しい表彰があるんだと・・・」という選手の言葉が印象的でした。氷の上で40mも離れた的にストーンを止めるだけでもすごいと思いますが、敵チームのストーンをはじき飛ばしたり、コースの邪魔をする所に止めたりと、緻密なスポーツであることも知りました。今回のオリンピックでは、その他の話題でも考えさせられることが沢山ありました。今後の糧として学び、世界中の選手が成長してくれることを願います。玉川小の子供たちも、この感動を機会にスポーツに取り組み、世界を目指す可能性があります。楽しみにしています。

さて、明日から3月になります。令和3年度の最後の一月になります。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、様々な制限の中での学校生活となりました。1年間のまとめと、次の学年への進級や進学への準備を行ってまいります。健康に学校に通えるよう、御家庭でも御協力をお願いいたします。

オミクロン株の拡大により、3月6日までは「まん延防止等重点措置期間」です。オミクロン株はとてつもなく感染力が強く、子供にも感染します。無症状や軽症の方もいるようですが、重症患者数や死亡者数は感染者数に応じて増えている状況です。一人一人の感染防止対策が重要です。これまでどおりではなく、今まで以上に感染防止に努めましょう。正しいマスクの着用、石けんによる丁寧な手洗い、アルコール消毒、換気、密接・密室を避けるなど、今一度確認し、適切に取り組めます。一日も早いコロナの終息を願います。

末筆になりますが、今年度の玉川小学校の教育活動に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 3月の生活目標

#### 「学校を綺麗にしよう。」

##### <学級での取組>

- ・協力して清掃をする。
- ・机や壁の汚れを落とす。
- ・机や椅子、ロッカーの中を綺麗にする。



## 6年生を送る会・開校記念集会

担当 野尻 侑花

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年どおりの6年生を送る会を行うことができません。各学年で出し物の撮影を行い、当日に各クラスで鑑賞します。

1～5年生は、6年生に向けてこれまでお世話になった感謝の気持ちを込めて、合奏やクイズ、ダンスを送ります。また、6年生は在校生となる1～5年生に向けて、お礼や励ましの気持ちを伝えます。

玉川小学校は、今年度で111周年を迎えます。歴史ある玉川小学校の開校記念を同日に祝います。集会に向けては、6年生の代表委員がお祝いの準備を進めています。

玉川小学校の校章であるサクラをモチーフにした、すてきなケーキを作成しています。当日は、動画を見ながら、みんなで111歳の誕生日をお祝いします。



## 6年生 学年紹介

担当 浅川 晴香 原 綾萌

6年生は、卒業式までのカウントダウンが始まりました。残り少ない小学校生活を有意義に過ごそうと、何事にも意欲的に取り組んでいます。

国語や外国語、総合的な学習の時間など、自分の将来について考える学習が増えています。中学生で頑張りたいこと、大人になったら就きたい仕事など、自分の未来について考えるきっかけとなるよう指導しています。



## クラブ活動まとめ

担当 浦川 邦夫

限られた実施回数の中で6年生は、活動の中心として計画を立てたり、下学年の児童のお世話をしたりして、クラブを積極的に運営してきました。感染症対策のためクラブ見学が中止になったので、ポスターを描いてクラブの良さを伝えました。これらの経験を中学校生活で生かせると思います。

また、5年生は来年度の活動の中心となります。新設クラブの希望を出すなどして、来年度へ期待をもっていることが感じられます。3年生から5年生まで希望調査を行い、異学年交流の場となるように配慮し、より良い活動となるように声をかけていきます。

## 令和4年度からの算数少人数コースについて

担当 算数少人数指導担当 浦川 邦夫

本年度末まで、じっくり・しっかり・チャレンジという名称でコース分けをして指導してきましたが、令和4年度より名称変更を行い、新たな気持ちで学習に取り組めます。ピタゴラス（旧：じっくり）…古代ギリシアの数学者です。三平方の定理で有名です。パスカル（旧：しっかり）…17世紀の数学者です。パスカルの三角形を考案しました。

ガウス（旧：チャレンジ）…18世紀の数学者です。現代数学の基礎を築きました。それぞれ、偉大な数学者の名前をコース名にして、コースによる差異を感じさせないことを重視しました。名称決定にあたっては、本校児童に関わる教職員全員に広く意見を募った上で決定しました。低学年も同じ名称で取り組みます。引き続き児童の学力向上を目指して指導を充実させていきますので、よろしくお願いいたします。

## 学芸会を振り返って

担当 文化的行事委員 下田 誠

2月4日・5日の二日間で学芸会を行いました。コロナ禍という中で急きょ、動画撮影・配信となりましたが、子供たちは一つの作品を堂々と作り上げていきました。

1・2年生は初めての学芸会にもかかわらず、大きな声でセリフを言ったり、大きな動作で表現したりすることができました。3・4年生は、難しい表現も、自分たちで考え、上手に表現することができました。5・6年生は、物語の内容をよく理解して表現した上に、照明や音響も自分たちで行いました。また、会場の準備や片付けも積極的に取り組みました。

今年度の学芸会実施にあたり、保護者の皆様におかれましては、衣装の準備や子供たちへの励ましの声掛けなど、様々な面で御支援をいただきました。ありがとうございました。

